

# 姫路市環境基本計画

(2013—2020)

自然と人が調和し、未来につなぐ環境城下町・姫路  
～持続可能な環境共生社会の形成を目指して～



H I M E J I

姫路市

## 計画の趣旨

姫路市では、平成13年(2001年)3月に「姫路の環境をみんなで守り育てる条例」を制定し、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、同年6月に「姫路市環境基本計画」(平成13年度～平成24年度)を策定しました。

この計画を引き継ぐものとして、環境を取り巻く状況の変化を踏まえた新しい計画を策定し、持続可能な社会の形成を目指します。



## 計画の基本的事項

### 役割

- 中長期的な観点から、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するもの
- 他の計画の策定及び施策の実施に際し、環境面において整合が図られるべきもの
- 市民、事業者の環境に関する指針となるもの

### 計画期間

平成25年度(2013年度)～平成32年度(2020年度)

### 対象地域

姫路市全域

### 対象範囲

環境要素	具体例
生活環境	大気環境、水環境、土壌環境、騒音・振動、悪臭、化学物質、廃棄物 等
自然環境	地形地質、野生生物、生物多様性、緑・水辺・自然とのふれあい 等
快適環境	景観・美化、歴史文化遺産 等
地球環境	地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨 等

# 計画が目指すもの

姫路市は、播磨の風土に育まれた豊かな歴史文化と恵まれた多様な自然環境を有しており、古くから播磨地域の中心として発展してきました。

この先人達が育んできた豊かな環境を、より良い形で次世代に継承していくことが求められています。

こうしたことから、持続可能な環境共生社会の形成に向けて、播磨の風土に根ざして、人と人が手をとりあい、未来につなぐ自然と人が調和した環境づくりに取り組む都市を目指します。

環境像

自然と人が調和し、未来につなぐ環境城下町・姫路  
～持続可能な環境共生社会の形成を目指して～

## 環境像の実現に向けて

基本目標

1

### 市民環境力の向上

あらゆる世代への環境学習の機会の提供、情報発信等や地域全体で環境を保全していく仕組みづくりを行い、地域の多様で貴重な環境を次世代に引き継ぎ、将来にわたって持続可能な社会をつないでいくための基礎となる市民の環境力の向上を目指します。

推進  
施策

- ・環境学習の推進
- ・環境情報の共有
- ・環境配慮活動の促進

環境  
指  
標  
主  
な

- ・環境イベント実施回数
- ・環境政策室ホームページ閲覧回数
- ・市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量



基本目標

2

### 低炭素・循環型社会の構築

省エネルギー・低炭素化、「適量生産・適量消費・最少廃棄型」の事業活動やライフスタイルの普及を推進し、環境負荷を低減するとともに、持続的な経済の発展及び快適な暮らしを確保するため、環境と経済の調和を目指します。

推進  
施策

- ・低炭素社会の構築
- ・循環型社会の構築
- ・環境と経済の調和

環境  
指  
標  
主  
な

- ・市域の温室効果ガス排出量
- ・一般廃棄物の資源化率
- ・朝市への来場者数



基本目標

3

## 生活環境の保全

大気環境、水環境、土壌環境への負荷を低減するとともに、都市化に伴う音環境や熱環境の悪化を防ぎ、健康で安心して暮らせる生活環境の保全を目指します。

推進  
施策

- ・大気環境の保全
- ・水環境の保全
- ・土壌環境の保全
- ・静けさの確保
- ・ヒートアイランド対策の推進

環境  
指標  
主な

- ・大気環境基準等達成状況
- ・水環境基準等達成状況
- ・土壌環境基準(ダイオキシン類)達成状況
- ・騒音環境基準等達成状況
- ・熱帯夜数



基本目標

4

## 自然環境との共生

生物の生息状況について把握し生態系の保護に努めるとともに、身近に緑や水辺とふれあうことができる場所の保全・創造や自然資源の活用を通じて、豊かな自然環境との共生を目指します。

推進  
施策

- ・生物多様性の確保
- ・身近な緑の保全と創造
- ・身近な水辺の保全と創造
- ・自然資源の活用

環境  
指標  
主な

- ・指標生物発見率(身近な生き物調査)
- ・一人あたりの都市公園面積
- ・水生生物調査参加者数
- ・自然学校の実施校数



基本目標

5

## 快適環境の創出

歴史文化遺産や自然環境を活用、維持しながら、まちの魅力の向上に取り組み、すべての市民が地域に愛着をもって、快適に暮らせる環境を創出することを目指します。

推進  
施策

- ・魅力的な景観の形成
- ・歴史文化遺産の保存と活用
- ・環境美化活動の促進

環境  
指標  
主な

- ・都市景観重要建築物等指定数(累計)
- ・姫路城登閣者数
- ・まちかど100mクリーンアクション参加事業所数



# リーディングプラン

計画全体を牽引(リード)するものとして、特に重点的に取り組んでいくテーマをリーディングプランとします。

1

## 環境学習推進の 輪づくり

市民や事業者と市の協働の仕組みを構築し、市全体に環境学習の取り組みが広がる仕組みづくりを行います。

### 取組内容

- ・パートナーシップ型環境学習の推進
- ・楽しく学ぶ環境学習の実施
- ・姫路スタイルの環境学習の実施



2

## 再生可能エネルギー の導入促進

日照に恵まれた特性を活かし、太陽光発電の普及促進を図ります。その他再生可能エネルギーについても、地域資源活用の観点から導入に向けた調査・研究等を進めます。

### 取組内容

- ・太陽光発電の導入拡大
- ・その他再生可能エネルギーの導入促進
- ・市施設への太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入促進



3

## 生物多様性 地域戦略づくり

自然保護条例に基づく取り組みを継続するとともに、生物多様性に関する総合的な指針を策定します。

### 取組内容

- ・生物多様性地域戦略の策定
- ・生物多様性推進ネットワークの構築
- ・外来生物対策の推進



## 地域別の取り組み

姫路市は、北部には雪彦山をはじめとする森林・丘陵に囲まれた田園地域が広がり、南部の臨海部には鉄鋼、化学等の基礎素材型産業が立地する臨海工業地帯が発達するなど、環境特性が異なる地域から成り立っているため、地域ごとの特性を踏まえた環境づくりの方向を示します。

### ① 森林・丘陵・田園地域

豊かな自然を保全し、人と自然の営みが調和した環境づくりを目指します。

### ② 市街地地域

環境に配慮した都市活動を実践し、快適な生活空間を確保する環境づくりを目指します。

### ③ 臨海・群島地域

産業活動による環境への負荷を最小限にとどめつつ、低炭素・循環型社会の形成に貢献する環境づくりを目指します。



# 目標の達成に向けみんなで取り組むために

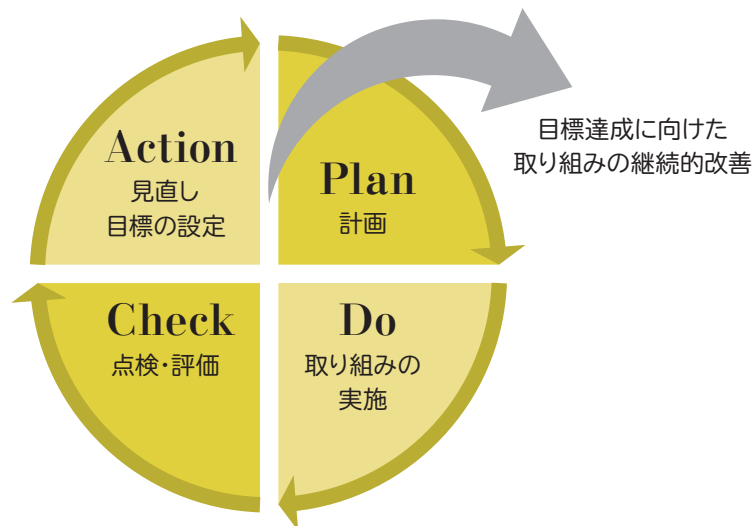
計画に掲げる環境像及び基本目標を実現するためには、市民、事業者、市などすべての主体が環境についての認識を共有し、それぞれが自らの責任と役割を理解したうえで、協力・連携して行動する必要があります。

## ◆ 各主体の役割



## ◆ 進行管理の方法

PDCA(Plan(計画) - Do(実施) - Check(点検・評価) - Action(見直し))による進行管理を行い、環境マネジメントシステムを活用しながら、目標達成に向けた継続的改善を図ります。



## 姫路市環境基本計画 概要版

発行日 平成25年(2013年)3月  
 発行 姫路市環境局環境政策室  
 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地  
 TEL:079-221-2468 FAX:079-221-2469  
 E-mail:kankyoho@city.himeji.hyogo.jp  
 URL:http://www.city.himeji.lg.jp/s40/2212468

## 姫路市について

### ◆ 面積

534.43km<sup>2</sup>

### ◆ 沿革

明治22年(1889年) 姫路市制を敷く  
 平成8年(1996年) 全国で初めて中核市に移行  
 平成18年(2006年) 家島町、夢前町、香寺町、安富町を編入合併

### ◆ 人口・世帯数など

人口総数:536,333人(男:259,410人、女:276,923人)  
 世帯数:210,525世帯  
 (平成24年(2012年)12月1日現在)

